

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI米国小型成長株ファンド（愛称：グレート・スモール）」は2020年11月25日に第2期決算を行いました。

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期末（2020年11月25日）

基準価額	13,395円
純資産総額	1,265百万円
第2期	
騰落率	33.7%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBI米国小型成長株ファンド （愛称：グレート・スモール）

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第2期（決算日2020年11月25日）

作成対象期間（2020年5月26日～2020年11月25日）

 **SBI Asset Management**

**SBIアセットマネジメント株式会社**

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

（2020年5月26日～2020年11月25日）



期 首：10,017円

期 末：13,395円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率： 33.7%

（注1）当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 【基準価額の上昇要因】

- ・ヘルスケア、一般消費財、資本財、情報技術などのセクターを中心に米国小型株式が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## 【基準価額の下落要因】

- ・為替市場で米ドルが対円で軟調となったことが、基準価額にマイナスの要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2020年5月26日～2020年11月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 89 ( 50 ) ( 37 ) ( 2 )	% 0.790 (0.444) (0.333) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  委託した資金の運用の対価  交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価  運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	12 ( 12 )	0.107 (0.107)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.003 (0.003)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 ) ( そ の 他 )	60 ( 49 ) ( 3 ) ( 9 ) ( 0 )	0.538 (0.432) (0.026) (0.079) (0.000)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  開示資料等の作成・印刷費用等  信託事務の処理等に要するその他費用
(e) 実 績 報 酬	417	3,711	ファンドの運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価
合 計	578	5.149	
期中の平均基準価額は、11,234円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

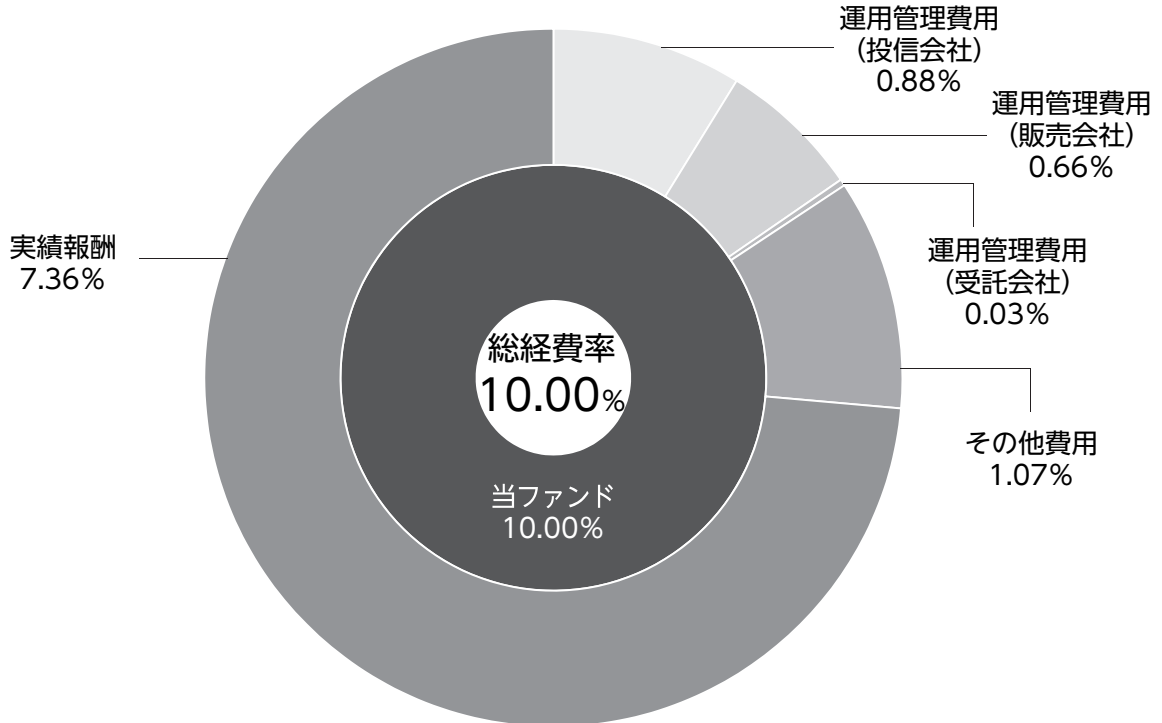
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注6) 当ファンドは実績報酬制を採用しております。なお、実績報酬は、決算期末に確定した1万口当たりの金額です。なお、解約時に確定した金額は考慮していません。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は10.00%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。実績報酬は、各期末時点の運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価ですが、他の費用と同様に年率換算しております。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2015年11月25日～2020年11月25日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2019年11月29日から2020年11月25日）のみの記載となっております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

		2019年11月29日 設定日	2020年11月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	13,395
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	0
基準価額騰落率	(%)	－	34.0
純資産総額	(百万円)	854	1,265

(注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年11月25日の騰落率は設定当初との比較です。

## 投資環境

（2020年5月26日～2020年11月25日）

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

米国小型株市場は、前期後半の2020年3月に新型コロナウイルスの感染拡大を受けて急落しましたが、4月以降は上昇に転じました。

当期期初（5月25日）も、この堅調な地合いを継ぐ形で株式の取引が開始され、期の途中で株価が下押す場面も見られたものの、期末に向けて上昇基調が続きました。当期の株式市場で、株価の主な上昇要因となったものは、次のとおりです。

- ・米国を始め、主要中央銀が積極的な金利の引き下げや資金の供給を行ったこと。米連邦準備制度理事会（FRB）は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、3月に緊急利下げを行いました。その後も政策金利を極めて低い水準に維持するとともに、市場に多額の資金供給を行いました。この状況は当期末の時点でも続いており、FRBは今後の政策について、経済が十分に回復するまで、緩和策を継続するとしています。また、米国政府は、景気を支援するために、大規模な財政刺激策を実施いたしました。これらの政策が、市場の不安心理を緩和し、株価の上昇につながったと思われます。
- ・米国の長期金利が8月以降小幅上昇したものの、総じて低位で推移したこと。長期金利の水準が低いことも、株価のサポート要因と考えられます。
- ・経済動向の改善。米国経済は4月から5月にかけて、大きく冷え込みました。しかし、その後は急速な景気悪化の反動で景気指標は大きく反発し、その後も改善傾向が続いています。感染の拡大が社会的混乱につながってはいるものの、市場は景気指標の回復を好感しているようです。
- ・大統領選挙でのバイデン氏の勝利。11月に行われた大統領選挙では、バイデン氏が勝利をおさめ、政治面での不透明感が大きく後退しました。これも市場の安心感につながりました。
- ・新型コロナウイルスのワクチン開発が進んだこと。複数の大手製薬会社は新型コロナウイルス開発を進めてきましたが、11月には各社が開発したワクチンが「効果が高く安全なものである」というデータが示され、新型コロナウイルス感染拡大の鎮静化と経済の正常化に向けた期待が高まりました。

以上の要因を背景に当期の米国小型株市場は大きく上昇しました。なお、期の途中では、新型コロナウイルス拡大とこれに伴う経済活動の制限の影響への懸念、大統領選挙に向けた不透明感などから、一時的に株価が下押す場面もありましたが、これらは短期的なものにとどまり、期を通して市場の強い基調が続きました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2020年5月26日～2020年11月25日）

## ＜当ファンド＞

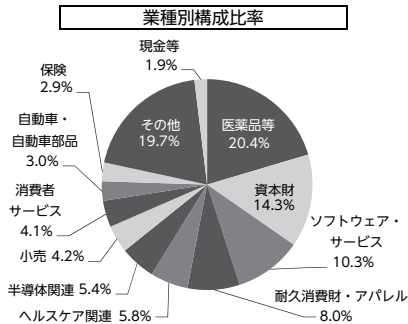
主要投資対象であるSBI米国成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

## ＜SBI米国成長株・マザーファンド＞

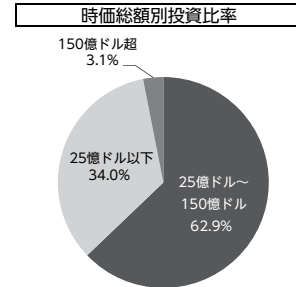
主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。



※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2020年5月26日～2020年11月25日）

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

（2020年5月26日～2020年11月25日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期
	2020年5月26日～ 2020年11月25日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,394

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

### <SBI米国成長株・マザーファンド>

当該投資信託の運用再委託先である、ドリーハウス社は、以下のようにコメントをしています。

#### 【投資行動及びポートフォリオの運用状況】

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドの実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントが和訳・編集したものです。

当マザーファンドの運用では、保有している「在宅勤務」や「リモートワーク」関連（ソフトウェア、アウトドア用品、オンライン診療など）の銘柄の組み入れを引き下げました。これらの銘柄は株価が十分に上昇し利が乗ったと判断したためです。

一方で、私たちは米国の景気は回復に向かっていると考え、この恩恵を受けると期待される景気敏感株の保有を増やしました。機械、運輸関連などの資本財セクターを市場指数に対しオーバーウェイトとし、当期末もこのポジションを維持しています。またこのほか、規模の小さい地方銀行にも注目しています。これらの銀行は、金利の上昇時、景気拡大時に有利な動きを見せると期待されます。

当期間中の本マザーファンドの騰落率は、米国の代表的な小型株指数であるラッセル2000グロース指数を上回りました。業種別には、ヘルスケア（バイオテクノロジーや医薬品）、一般消費財、公益などのセクターが、対市場指数の相対リターンにプラスに寄与しました。

#### 【米国株式市場の見通し及び投資戦略】

効果の高いワクチンが開発されたというニュースは、世界経済や株式市場にとり朗報です。これにより、新型コロナウイルスのパンデミックを抑え込む道が開けたといえるでしょう。足元で新規感染数の拡大が続いているため、経済がこの悪影響を受け短期的に停滞することも想定されますが、私たちは景気や企業収益の見通しは一段と改善してゆくと考えます。2021年に入り、時間の経過とともにワクチンの効果によって経済活動の再開が進み、やがて経済が正常化に向かうと思われるからです。経済の広い分野が新たな持続的な成長局面に入り、様々な産業、長期成長を遂げる企業、景気の影響を受けやすい企業へと広がっていくと考えます。現状、住宅や自動車を始め多くの産業で在庫の水準が低いことも、景気成長を後押しすると思われる。経済を別の側面からみれば、高い貯蓄率、個人部門の財務状況が健全なこと、そして当局が金融緩和姿勢を強く維持していることも、経済や株式市場にとり好環境であるといえるでしょう。私たちは、このような状況の中で、有望な投資機会を発掘していく方針です。

## お知らせ

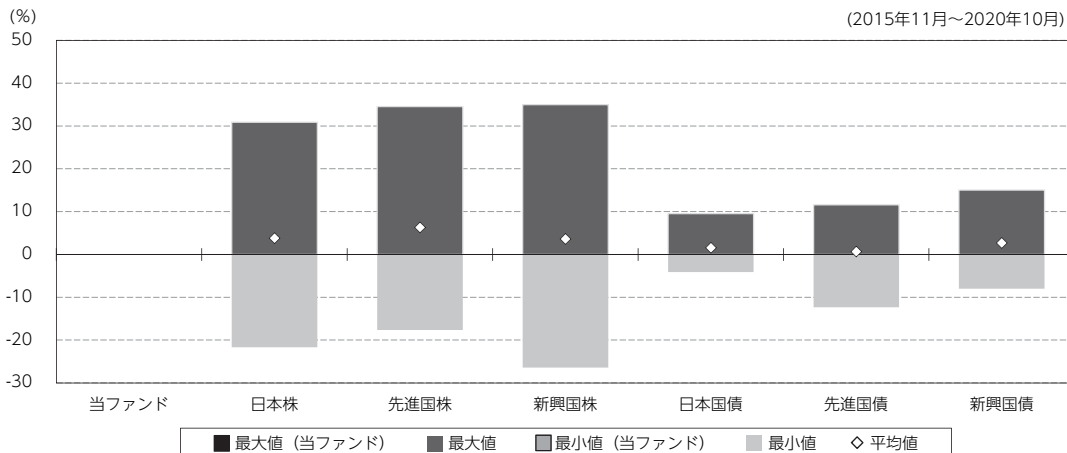
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2029年11月26日（月）まで（設定日：2019年11月29日（金））	
運用方針	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。なお、マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	原則として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分配方針	年2回（5月と11月の各25日。休業日の場合は翌営業日）決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	30.9	34.5	35.0	9.5	11.6	15.0
最小値	—	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	—	3.8	6.3	3.6	1.6	0.7	2.7

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年11月から2020年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため掲載しておりません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2020年11月25日現在)

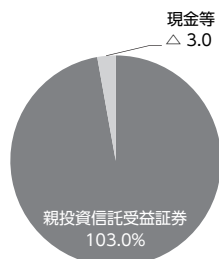
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
SBI米国成長株・マザーファンド	% 103.0
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

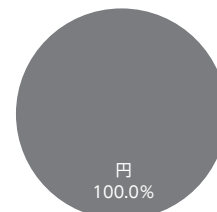
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 純資産等

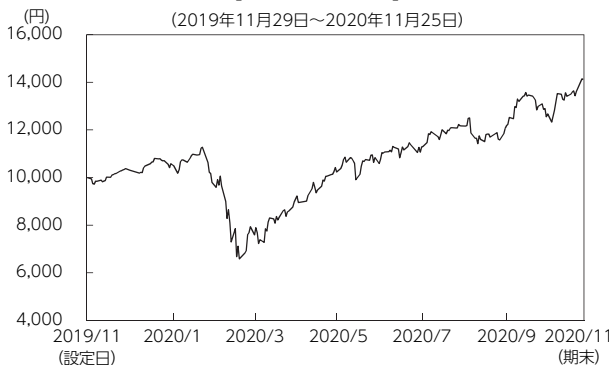
項目	第2期末
	2020年11月25日
純資産総額	1,265,221,248円
受益権総口数	944,554,344口
1万口当たり基準価額	13,395円

(注) 期中における追加設定元本額は196,581,557円、同解約元本額は653,841,571円です。

## 組入上位ファンドの概要

## SBI米国成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年11月29日～2020年11月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	25円 ( 25)	0.235% (0.235)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)	0.004 (0.004)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	87 ( 87) ( 0)	0.824 (0.823) (0.000)
合計	112	1.063

平均基準価額は、10,587円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2020年11月25日現在)

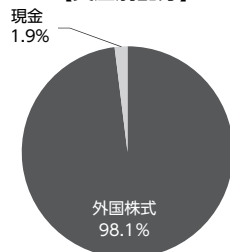
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ナテラ	医薬品等	米ドル	米国	2.0
2	スプリングワークス・セラピューティクス	医薬品等	米ドル	米国	1.9
3	インピテ	医薬品等	米ドル	米国	1.9
4	インスパイア・メディカル・システムズ	ヘルスケア関連	米ドル	米国	1.9
5	クロックス	耐久消費財・アパレル	米ドル	米国	1.7
6	シナプティクス	半導体関連	米ドル	米国	1.5
7	ピステオン	自動車・自動車部品	米ドル	米国	1.4
8	キンセール・キャピタル・グループ	保険	米ドル	米国	1.4
9	シタイム	半導体関連	米ドル	米国	1.4
10	チャート・インダストリーズ	資本財	米ドル	米国	1.4
	組入銘柄数		117銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

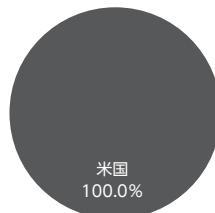
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2020年11月25日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。